

大原中学校だより 令和5年5月30日 第22号 校長 柴田美由紀

【大原中学校の教育目標】
「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく未来を拓く生徒の育成」



今年度のブロック色決定!

1組 青ブロック 2組 赤ブロック 3組 黄ブロック

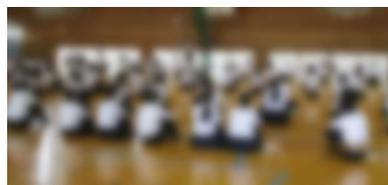


5月15日(月)お昼休みに、多くの子どもが見守る中、中庭をはさむベランダにて、本年度のブロック色決定抽選会が盛大に行われました。どの色になりたいか、生徒同士で大いなる盛り上がりを見せ、3年生の各ブロック代表が、体育大会に対する熱い想いを語った後、緊張しながらす玉を選びました。結果、1組：青ブロック、2組：赤ブロック、3組：黄ブロックとなりました。これから、体育大会や文化発表会に向けて、また、日常の学校生活の充実をめざしてのブロック活動に向けて、気持ちを高めることができました。ブロックのつながりや高まりを通して、今年も、たくさんの感動が生ま

れることを期待しています。

大原中学校「人権を考える日」の学習より ～「大原中学校人権宣言」～

5月23日(火)、全校で「人権を考える日」の学習をしました。3年生は、「これまでの自分、これからの自分」「これまでの学年集団、これからの学年集団」について振り返り、自分そして学年を見つめ直すという学習を、学年集会での意見発表という形で行いました。50分間の時間いっぱい、多くの子どもが、自ら手を挙げ、全体の前で堂々と意見を述べていきました。聞く態度も大変素晴らしく、一人ひとりの発表の後には、勇気を称える大きな拍手が鳴り響いていました。大原中学校の最高学年としての自覚を共にした凛とした時間であったと感じました。



2年生は、「クラスの約束ごとを考えよう」について学習しました。学級委員や班長が中心となって、学級会を進めていきました。どの班も一人一人がしっかりと意見を持っており、積極的な意見交流を通して、みんなの思いのつまったクラスの約束ごとができ上がりました。



入学して間もない1年生は、「ふれあい体験学習」に向け、まずは、5月19日に、各クラス学級会を

行い、1年生の目標である「つながる」ためには、何が必要か、課題について考えていきました。そして、23日の学年集会では、はじめに、各クラスの中央委員が、「クラスの課題」について報告し、その後、各班長が「『つながる』ために何が必要か」の発表を行いました。班長からの発表は挙手制となっていたのですが、途切れることなく、時間いっぱい積極的に発表が行われました。



本校には、子どもたちで作り上げた「大原中人権宣言」があります。この宣言は、生徒会総会議案書にも掲載しており、脈々と本校の文化の柱として受け継がれてきているもので、子どもたちも職員も常に心に刻みながら日々の生活を送っています。宣言には、「1997年(平成9年)10月31日 大原中学校生徒会」と記してあります。今からおよそ26年前に学校生活を送っていた先輩たちが、当時の「いじめ」の問題に正面から向き合い、徹底的に意見を出し合いながら話し合いを重ねてできたものです。自分たちの問題に真剣に向き合い、自分たちで考えぬいた宣言にある五つの「めざす姿」は、すべて特別なことではなく、授業、清掃、合唱、行事等を通して「日常における集団のあり方」を問うものです。



これからも、「大原中の人権文化」を受け継いでいくとともに、今の自分の姿をみつめ、学級集団、学年集団の姿がこの願いに応えるものになっているかを常に問いながら、かけがえのない仲間とともに力を合わせて歩みを進めていきたいと考えます。

5名の教育実習の先生方をお迎えしています。

5月22日(月)から、今年も、教育実習の先生方をお迎えしています。長い方で3週間、短い方で2週間の実習期間となり、実践的指導力を身に付けるために、日々奮闘されています。先生(英語科) 先生(社会科) 先生(理科) 先生(社会科) 先生(保健体育科)の5名の先生方です。短い期間ですが、授業をはじめ、朝の会や給食、帰りの会、清掃の指導等学校生活全般において、一生懸命に子どもたちとともに過ごしていただいています。さらには、それらの活動に加え、部活動の練習にも参加していただくなど、実習の日々を充実させるために、積極的に取り組んである姿を見て、私たち自身も学ぶべき点が多くあるように感じます。すてきな先生になられるよう、心から応援しています。

